

6/3~

主権者意識向上カリキュラム

6月より宮崎JCでは、地域課題解決委員会の選挙啓発事業として「主権者意識向上カリキュラム」を県内各高校にて行っております。

本事業は、啓発活動を通して、若い世代に政治への興味及び関心を持ってもらい、政治参画意識の向上を目的として構築された事業となっており、公益社団法人日本青年会議所 主権者意識向上委員会の啓蒙プログラムを使用し、宮崎大学選挙啓発サークル「ボイス」、宮崎公立大学選挙啓発サークル「ライツ」の学生にカリキュラムの講師を行っていただいております。

カリキュラムは2部構成となっており、1部ではアニメ「法哲学園」を視聴していただき、自分の意見は持ちつつも、お互いの意見を尊重しながら議論をするという、民主主義の基本を学べる内容となっており、2部ではメディアによってそれぞれスタンスや伝えたいことに違いがあり、その中でもどのように情報を取得していくかを考える内容となっております。

7月の参議院議員選挙を控えている中で、若い世代にも選挙の大切さを伝えられるよう引き続き活動を行ってまいります。



6/12 ~15

★ ★ ASPAC ★ ★

6月12日(木)から6月15日(日)にかけてASPAC(アジア・太平洋地域会議)がモンゴルのウランバートルにて開催されました。宮崎JCから野村理事長をはじめ、16名の宮崎JCメンバーが参加しました。各式典・フォーラムをはじめ、モンゴルの日本大使館訪問、姉妹JCのマリーナJCと交流、LOMナイトへの参加、モンゴル観光などイベントが盛りだくさんとなり、とても充実した4日間となりました。ジャパンナイトでは、数十年ぶりに宮崎JCとしてブースの出店をさせていただき、宮崎牛と雲海酒造様の木挽ブルーを約2,000名に振舞いを行い、宮崎の魅力を多くのメンバーに伝える事ができました。その結果、ジャパンナイトの出店ブースに対する表彰にて、見事宮崎JCが会頭特別賞を受賞することができました。野村理事長をはじめ、参加したメンバー一同、一生忘れることない良い思い出となりました。

この感動と興奮をこれから実施される事業ひとつひとつに受け継げるように実施してまいります。

OBからのメッセージ

～現役JCIの皆さんへ～

雨が降るこの時期になると、知らない番号から電話がかかってくる。その第一声が「お世話になっております〇〇先輩!まつりえれこっちゃん〇〇と申します。今回はまつりの協賛の件で連絡させていただきました」とのこと。この電話がかかってくるとそろそろ夏だなと季節を感じる。まつりに携わっていた私にとっては、この連絡が意外と心地いい。青年会議所現役メンバーをはじめ、振興会の皆が一生懸命活動している姿が思い出される。20年以上続くこのまつりは青年会議所にとっては宝であり、官民、企業、団体が協力して、宮崎の為に動く一番の事業ではないかと思えます。このまつりは、現状単年度制の為にたくさんの人が携わり運営を経験できるものとなっております。年々中身は様変わりを見せますが、このまつりの醍醐味は楽しいだけでなく、感動できることではないだろうか?一人の力じゃ絶対できないものを皆でつくりあげる。このまつりは仲間の大事さや市民の笑顔を生で感じれる最高の舞台だと思う。今年も開催まであと少し、できる限り皆で協力して最高のまつりにして欲しい。そして、このまつりを継続させるためにも一人でもまつり運営に携わるメンバーが増えていってくればと切に願います。

サボテン

みやざき



ASPAC JAPANナイト 会頭特別賞受賞

contents ▶▶▶

2025宮崎JC SPRING 春季事業報告

例会メインアワー(3・4・5月)

【イベント報告】JCサッカー選手権・わんぱく相撲・JCフェスタ 主権者意識向上カリキュラム・ASPAC



企画・編集・発行

JC News Miyazaki / Vol.678 2025 SUMMER

一般社団法人 宮崎青年会議所 パブリシティ委員会

〒880-0865 宮崎市松山1-12-7大春ビル3F TEL:0985-28-2522 FAX:0985-28-2466

一般社団法人 宮崎青年会議所は持続可能な開発目標SDGsを支援しています。

3月~5月 例会メインアワー

3/13

4/17

5/16

3月から5月の例会メインアワーにて共存共栄委員会の推進事業である「WHY JAYCEE 育成事業」が行われました。

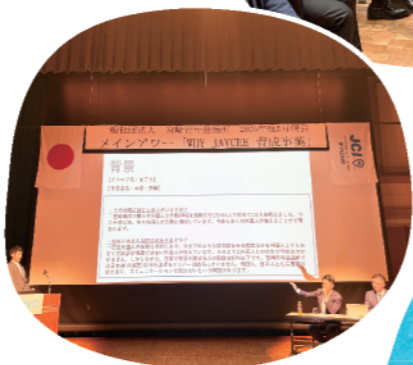
本事業は、宮崎JCのアカデミー会員比率が上昇する中で、正しい組織運営を継続させることを目的としており、アカデミーメンバーを5つのグループに分け、事業を行う想定で議案を作成します。6月の例会メインアワーで模擬理事会を開催し、最優秀議案の事業を実際に行います。

3月13日(木)の第1回では、山崎副理事長に「ONE IMPACT SEMINAR」の講演を行っていただき、JCの使命について学びました。その後、グループごとにグループセッションを行い、自己紹介や役割の分担、スケジュールの調整を行いました。

4月17日(木)の第2回では、各グループが構築中の事業に関する成果発表が行われました。発表に対して、山崎副理事長よりフィードバックをいただき、ブラッシュアップの方向性を確認する機会となりました。

5月16日(金)の第3回では、4月時点からさらにブラッシュアップされた成果発表を行いました。山崎副理事長だけでなく、議長、委員長、局長からもフィードバックをいただき、さらに完成度を上げるためのメインアワーとなりました。

6月例会では、模擬理事会の実施となりますので、残り1ヶ月で上程できる議案として落とし込めるようブラッシュアップしてまいります。



4/27

第18回

わんぱく相撲 宮崎大会

4月27日(日)に、第18回 わんぱく相撲 宮崎大会がひなた武道館の相撲場にて行われました。

当日は77名の子どもたちに参加していただき、大勢の観客の中で一生懸命相撲に取り組みました。今年は本物の土俵で取り組みを行い、参加した子どもたちにとっても貴重な機会を提供できました。

観客から熱い声援が飛び交う中、怖がらず相手にまっすぐぶつかっていく姿、最後まであきらめず逆転勝ちをおさめる姿、負けて悔し泣きをする姿など、様々なシーンを通して、メンバー同力をいただきました。子どもたちにも様々な学び・経験を提供できました。今後も地域の方々と協力し、スポーツの魅力向上を図っていききたいと思います。



宮崎JC 2025 SPRING 春季 事業報告

JCフェスタ2025 in日向

5/24(土)に公益社団法人日本青年会議所 九州地区 宮崎ブロック協議会が主催する「JCフェスタ2025 in日向」が日向市で開催されました。eスポーツ宮崎県大会、わんぱく相撲 宮崎県大会、防災ブース、グルメブースなどの数多くのイベントが開催され、見どころ満載のJCフェスタとなりました。大会式典では多くの来賓、各地シニアの先輩諸兄姉の皆様、県内各地のメンバーにご参加いただきました。

メインフォーラムでは「高付加価値インバウンドの可能性」と題し、コロナ後から日本全体を通してインバウンドの需要が高まる中、インバウンド数の回復が全国水準より遅れている宮崎県がこれ以上地方として取り残されないために、株式会社やまごころの代表である村山 慶輔様をお迎えし、宮崎県のインバウンドの現状と海外富裕層をターゲットとして、高付加価値インバウンド獲得する重要性について講演をいただきました。

フォーラム終了後は、大懇親会がSTAIRS OF THE SEAにて開催されました。ひよっとこ踊りやLOM対抗eスポーツ、卒業式を行い県内各LOMと交流を深めました。

JCフェスタの運営と構築に関わった皆さま本当にありがとうございました。次年度のJCフェスタの主管LOMは延岡JCとなり、延岡の地にて開催されます。



4/12・13

2025年度 第34回九州地区 JCサッカー選手権大会 霧島大会

4月12日(土)、4月13日(日)に、鹿児島県霧島市国分の楠志田多目的グラウンドにて九州地区JCサッカー大会が開催され、宮崎青年会議所蹴球会も参加させていただきました。結果は下記の通りとなりました。

DAY
01

4月12日(土) 総当たり対決
vs諫早JC 6-0で勝利
vs鹿屋JC 0-1で惜敗
vs福岡JC 1-0で勝利

DAY
02

4月13日(日) 決勝トーナメント
vs佐賀鹿島JC 3-1で勝利
vs鹿屋JC 【準々決勝】1-0で勝利
vs熊本JC 【決勝】0-1で惜敗



その甲斐もあり、今年は過去最高の成績となる、準優勝という成績を残すことができました。来年は、今年を上回る成績を残せるよう、現役のメンバー一同より一層練習に励んでまいります。